

えほんのおへや通信



2011年9月1日(木)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

8月は駆け足で過ぎ去りました。まだまだ残暑が厳しく、体調を崩しがちです。気をつけましょう。絵本の世界はまだまだ秋色ではないですが、お彼岸がすぎれば秋はもうすぐです。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」9月号の紹介。

こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

「はと」

菊池日出夫作

公園の水道に2羽のハトが飛んできて、水をグビグビと飲み、バシャバシャ水浴びをしました。気持ちよくなって草の実をたっぷり食べて芝生で休んでいたら、子どもが「わー」といってやってきます……。



こどものとも 年少版

2～4歳向き

「おさらのこども」

西平あかね作

台所の流しにお皿が一枚。蛇口からぽつんとしずくが落ちると、お皿の模様から3人の子どもが抜け出した。お皿の子どもたちは、ペットボトルを船にして遊んだり、コップをたたいたりして大騒ぎ。そこに誰か来た!・・・。



こどものとも 年中向き

4～5歳向き

「たぬきえもん」

～ 日本の昔話 ～

藤巻愛子再話 / 田澤茂絵

ある日、となり村で芝居をしていた役者たぬきえもんは、おっかあが病気だという知らせに急いで家へ帰ろうと、ばけものが出るという噂を登っていきました。



こどものとも

5～6歳向き

「おじいちゃんのトラのいるもりへ」

乾千恵文 / あべ弘士絵

森のそばの村に住む男の子のサカは、魚の釣り方や竹かごの編み方、太鼓のたたき方など、なんでもおじいちゃんに教わりながら暮らしていました。村では毎年トラの踊りを踊るお祭りがあり、おじいちゃんはそので見事に太鼓をたたくのでした。ところが…。



ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

「ぼくらはごりら」

小風さち文 / 阿部知暁絵

ぼくごりら。ごりらの子。わたしもごりら。ごりらの子。ごりらの子どもが集まって始まる遊びは、木登りにおいかけて、とっくみあいに胸たたき。電車ごっこみたいに、つながり歩きもするんだよ。



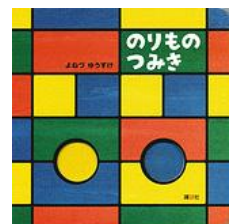
今月は他にこんな絵本も購入しました。

「のりもの つみき」

作: よねづゆうすけ

つみきで乗り物、何つくる? 四角く積み上げられたカラフルな積み木が、「つみきでのりものなにつくる?」とページをめくると、車やロケットにはやがわり! とっても美しい穴あき絵本です。

1歳から



講談社

【雑感】

夏の風物詩、「花火大会」が各地で催され、大震災の被災地へ向けた花火が打ち上げられた。復興への願いが込められていることだろう。被災された方が招待された花火大会では「亡くなった人たちに祈りながら見ていた。とても華やかで勇気をもらえた。」と話された方がおりました。



花火は見る人に勇気や感動を与えるものです。自粛せずに上げてもらいたいですね。

「ちいさなタグボート ポップ」

セバスチャン・ブラウン / 著
まえざわあきえ / 訳

3歳から

タグボートのポップは、小さいけれど、とても力持ち。毎日港で、重い荷物をひっぱったり、せまいところではうまく動けない大きな船を手伝ったり。ある日、大きな船が港に仲間入りすることになりました。ところ…!?

(年齢は目安です。)



徳間書店